

3節 価格の働きと金融①



目標時間
10分

市場の経済の仕組み

- (1) 商品が売り買いされる場を何というか。
- (2) 買おうとする量。
- (3) 売ろうとする量。
- (4) 一般に価格が上がると(①)量は減り、(②)量は増えます。
- (5) 逆に価格下がると(①)量は増え、(②)量は減ります。
- (6) 需要量と供給量が一致し、市場が均衡価格状態になる価格。

① ②

① ②

価格の働き

- (7) 市場で商品を供給する企業が1社だけの状態。
- (8) 市場で商品を供給する企業が少数の状態。
- (9) 一つの企業が独断で、あるいは少数の企業が足並みそろえて、決める価格。
- (10) 市場での公正かつ自由な競争を促進せ、事業者が自主的な判断で自由に活動できるようにすることを目的とした法律。
- (11) (10)に基づいて設置された行政機関。
- (12) 電気、ガス、水道などの価格は、大きく変動すると、国民生活に大きな影響をあたえかねないため、国や地方公共団体が決定したり認可する価格(料金)。

貨幣の役割と金融

- (13) 市場の売買は、紙幣や硬貨などの()を使って行われる。
- (14) 資金が不足している人と余裕がある人との間でお金を融通すること。
- (15) 企業などが株式や債券を発行することで出資者から直接資金を借りること。
- (16) 銀行などを通じて資金を集めること。

日付	1回目
----	-----

(間違えた番号)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16				

日付	2回目
----	-----

(間違えた番号)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16				

日付	3回目
----	-----

(間違えた番号)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16				

